

糸魚川市長 久保田氏



初当選を決め、ガッツポーズで支援者と喜んだ久保田郁夫氏=20日午後11時30分ごろ、糸魚川市寺島1

三つどもえ戦制す

任期満了に伴う糸魚川市長選は20日に投票が行われ、即日開票の結果、いずれも無所属新人で、元教員の久保田郁夫氏(67)が、前市議会副議長の横山人美氏(59)、前市議の伊藤麗氏(34)を破り初当選した。久保田氏は惜敗した2021年の前回市長選に続いての再挑戦。自民党の市内3支部から推薦を受けた横山氏と接戦となり358票差で勝った。3人超過の市議選も同日投票され、18人の当選が決まった。

◇糸魚川市長選開票結果(選管最終)

当	9、150	久保田 郁夫	67	無新①
	8、792	横山 人美	59	無新
	5、517	伊藤 麗	34	無新

5期務めた現職の米田徹市長(76)の退任表明により、20年ぶりの新市長誕生となった。選挙戦では、加速する人口減少に伴う医療や教育問題、現市政が進める「駅北子育て支援複合施設(仮称)」への対応などが主な争点となった。複合施設の見直しを掲げた久保田氏が当選したこと

で、有権者は現市政からの転換を選択した形となった。久保田氏は人口規模に見合ったまちの規模に合わせ、選択と集中で充実を目指す「縮充」を掲げた。前回選と同様に大きな組織、団体から支援は受けず、地元同級生や長年取り組むバスケットボール、区長の活動を

通じて築いた仲間が活躍の流れを止められなかった。寺島区民会館で当選の報を受けた久保田氏は「複合施設については、及ばなかった。投票率は72・53%で、21年前回選より159ポイント下がった。横山氏は、米田氏の後継候補として、自民3支部の推薦を受け組織戦を展開したが、現市政からの転換を求め

◇糸魚川市議選開票結果(定数18-21)

当	議	選管最終	議	選管最終
1726	保坂 悟	57	市 議	公現⑥
1700	阿部 裕和	39	市 議	無現②
1524	田原 洋子	50	市 議	無現②
1381	田原 実	66	市 議	無現⑥
1378	関原 奈津美	42	会社役員	無新①
1341	松田 徳彦	69	政党役員	共新①
1328	池田 七菜	34	NPO法人代表	無新①
1298	利根川 正	63	市 議	無現②
1290	渡辺 栄一	65	市 議	無現②
1189	和泉 克彦	62	市 議	諸現②
1110	田中 立一	71	市 議	無現⑤
1105	古畑 浩一	65	市 議	無現⑤
1015	中村 実	72	市 議	無現⑥
1007	加藤 康太郎	54	市 議	無現②
1002	近藤 新二	63	市 議	無現②
919	松尾 徹郎	69	市 議	無現⑥
880	東野 恭行	51	市 議	無現③
645	宮島 宏	68	市 議	無現②
624	多田 松樹	50	NPO法人理事長	無新
560	高野 直行	48	会社員	無新
148	横川 正樹	69	会社員	無新

(円内数字は当選回数)

3 72・53%▽無効 21